

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	(770) 6600
部名	生涯学習部	課名	橋本図書館		課長名	天野 元敬
事務事業名	図書等資料充実事業					
予算上の事務事業名	図書等資料充実経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援					平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	図書館法・市図書館条例・市図書館条例施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
市民の生涯学習を支援し、教養、調査研究、レクリエーションに資するため、図書館法に基づき、計画的に図書資料の収集、整理、保存を行い、市民の利用に供する。					市民(他に、在勤在学者、広域利用締結市町村住民等)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入冊数 22,169冊(予算額 35,784千円 決算額 35,779千円 執行率 99.99%) ・蔵書冊数 206,732冊 ・利用冊数 846,773冊 ・利用者数 349,869人 ・開館日数 291日 						
6 関連・類似事業や他市の状況						
	横須賀市(4館)	厚木市(1館)	大和市(1館)	藤沢市(4館)	町田市(6館)	
			蔵書冊数	677,035冊	616,924冊	
	352,103冊	1,132,203冊	916,000冊		貸出冊数	
	936,923冊	1,220,627冊	714,552冊	3,824,998冊	3,929,000冊	
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	61,316	51,175	50,371	51,073	51,073	
一般財源	61,316	51,175	50,371	51,073	51,073	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	51,799	49,922	50,218	47,151	47,151	
事業コスト合計(a)	113,115	101,097	100,589	98,224	98,224	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	図書等資料充実事業			対象名称(単位)	図書資料購入経費(冊)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	113,115	101,097	100,589	98,224	98,224	
対象数	23,021	19,104	16,700	17,000	17,000	
単位あたり経費(円)	4,914	5,292	6,023	5,778	5,778	
前年度比		1.08	1.14	0.96	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	図書資料購入率		指標式と指標の説明	予算の執行率により把握 35,779/35,784*100=99.99%		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	図書資料貸出回転率		指標式と指標の説明	図書資料の年間貸出状況を把握し、図書資料の利用割合を把握する。846,773/206,732*100=410		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	554.0	545.0	410.0			
目標	0.0	0.0		410.0	410.0	
目標達成度						
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
有	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		図書等資料充実、利用者サービスを充足させるために、重要な事項である。現在、装備等一部委託可能な業務は、委託を実施しており、市民要望等を考慮すると現状維持が望ましいと考えられる。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
既に業務の一部を、民間委託により実施済である。			限られた経費の中で、利用者要望に応えるための人材の育成と確保			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				